

学校運営委員会だより No. 5

＜第5回学校運営委員会報告＞

1 日 時 令和8年1月27日（火） 10時00分～11時00分

2 出席者 志賀、山野、柏葉、山崎（PTA）、山崎（学校支援CO）山口、校長、副校長

3 内容

（1）学校長挨拶

来年度から学校運営協議会という新しい組織になる。不透明な部分もあるが、子どもたちのためにあるものなので、着実に進めていきたい。

（2）運営委員長挨拶

子ども冬祭りが無事終わった。お米の値段が上がり、もち米の量がいつもより少なかったが、子どもたちは満足してくれたようであつた。

PTA コーラス部のコンサートが終わった。本校の卒業生がソロで舞台に立ち演奏してくれた。三茶小の音楽との先生の出会いがきっかけで音楽の教師を志しているという話をしてくれた。

（3）学校の教育活動報告

- ・駒沢中、駒沢小と本校の4年生がビオトープを通した交流をしている
- ・駒沢競技場で行われたアンプティサッカー国際大会の観戦に4年生が出掛けた。デフリンピック観戦、車いすバスケ体験授業と障害理解教育につながる体験的な学習を4年生は積み重ねている。
- ・1年生が小松菜採りに出掛けた。たくさんの小松菜を自分の力で頑張って持ち帰った。
- ・ひろがれ世田谷という東京2020大会に向けた意識高揚のためにつくられたダンスについて講師をお招きし、3年生が学んだ。
- ・保健室登校がいる。そういう児童も含めて本校の児童の支援の在り方等を協議する委員会を月に一度開いている。すまいるルームとの連携を含め、インクルーシブ教育の在り方をみんなで考え、進めている。
- ・いじめ対策委員会を定期開催とし、毎月実施。いじめにつながる、またはいじめと認知した事案について対策を講じるとともに、事後の様子の把握など組織的に取り組んでいる。（今年度11回すでに開催している）
- ・教員が1名休んでいる。学校全体で学級のフォローアップをしていく。

（4）令和8年度の教育活動について

- ・これまでの1、2年生の遠足を校外学習とする。学習と関連付けて実施することが可能であるため、生活科の授業時数として扱うようとする。
- ・都民の日を休業日とする。
- ・働き方改革を進めるため、留守番電話の設定時刻を17時30分に前倒しをする。
- ・学校運営員会が学校運営協議会となる。

地域枠、学識経験者枠、保護者枠が構成メンバーとなる。これまでの学校運営委員長、学校関係者評価委員長、町会、同総会長、学識経験者（柏葉さん）、保護者（次年度のPTA本部）の構成で現段階は考えている。事務局を副校長と会計年度職員となる学校支援コーディネーターの山口さんに務めてもらう。山崎さんは引き続き、有償ボランティア学校支援コーディネーターをお願いする。この組織の他に学校運営支援のチームをつくる。学習支援チーム、学校防災チーム、学校環境整備チームを編成していくと考えている。

(5) 学校支援地域本部より (山崎)

- ・1, 2年生の昔遊びの地域ボランティアをコーディネートしている。こま、けん玉、あやとり、お手玉で地域に声を掛けているが、選挙の関係で日程調整が困難な状況。
- ・6年生の茶道体験についても準備を進めている。3月4日で計画している。

(5) その他

(山崎) 地域のボランティアをどうやって集めたらいいのか悩みどころである。

→2月21日(土)に学習発表会を行う。地域を活用した学習を各学年充実させてきた。その学びの成果を発信する内容で行う。これまで関わってくれた地域の方を招待し、子どもたちが何を学び、何を感じたのか伝えられる機会にするとともに、地域との連携を次年度以降も充実させていきたい。(校長)

→一緒に活動をしてくれた機会を大事にし、協力依頼の声掛けを地道に行っているのが他校での実態。次年度発足する学校運営協議会の人員でもこのことを話題にして、できるだけ早い段階で日程の調整をしてもらうことや、ボランティア集めをそれぞれに進めてもらうことなどしていくのがよい。(柏葉)

→夏祭り、冬祭りで駒沢中の生徒が来てくれてお手伝いしてくれた。お手伝いを呼び掛けた声は、あまり広げずに行った。予算との兼ね合いがあるためである。その年、その年で状況も変わるために、その中でできることをやっていくことが大事だと思う。(志賀)

※次回、学校運営委員会は、3月12日(木)10時～会議室です。